ロ　外壁、窓等からの日射熱
ハ　屋内周囲空間で発生する熱
ニ　別表第１(い)欄及び(は)欄に掲げる用途ごとに同表(に)欄に掲げる式により算出した量に基づく取入外気の熱

⑵　規模補正係数は、非住宅建築物の地階を除く各階の床面積の合計（単位　平方メートル）を地階を除く階数で除して得た値（以下「平均階床面積」という。）及び階数に応じて別表第２に掲げる数値とすること。

２　一次エネルギー消費量に関する基準

２－１　非住宅建築物の建築主等は、当該非住宅建築物の設計一次エネルギー消費量（２－３に定める方法により算出した数値をいう。）が、当該非住宅建築物の基準一次エネルギー消費量（２－２に定める方法により算出した数値をいう。）を上回らないようにするものとする。ただし、特別な調査又は研究の結果に基づき、２－２及び２－３に定める方法による計算と同等以上に当該非住宅建築物がエネルギーの使用上効率的であることを確かめることができる計算による場合においては、この限りでない。

２－２　基準一次エネルギー消費量の算定方法

非住宅建築物の基準一次エネルギー消費量E_{ST}（単位　１年につきギガジュール）は、次の式により算出するものとし、小数点第二位を切り上げた数値とする。

$$E_{ST}=(E_{SAC}+E_{SV}+E_{SL}+E_{SW}+E_{SEV}+E_{M})\times10^{-3}$$

この式において、E_{SAC}、E_{SV}、E_{SL}、E_{SW}、E_{SEV}及びE_{M}は、それぞれ次の数値を表すものとする。

E_{SAC}：空気調和設備の基準一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）
E_{SV}：空気調和設備以外の機械換気設備の基準一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）
E_{SL}：照明設備の基準一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）
E_{SW}：給湯設備の基準一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）
E_{SEV}：昇降機の基準一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）
E_{M}：その他一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

⑴　E_{SAC}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SAC}=\sum_{i}^{n}(\alpha_{SAC,i}\times A_i)$$

この式において、$\alpha_{SAC,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SAC,i}$：室ｉの室用途及び地域区分ごとに別表第３に掲げる空気調和設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）
A_i：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）
ｎ：当該非住宅建築物における空気調和対象室の数

⑵　E_{SV}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SV}=\sum_{i}^{n}(\alpha_{SV,i}\times A_i)$$

この式において、$\alpha_{SV,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SV,i}$：室ｉの室用途ごとに別表第３に掲げる機械換気設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）
A_i：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）
ｎ：当該非住宅建築物における機械換気対象室の数

⑶　E_{SL}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SL}=\sum_{i}^{n}(\alpha_{SL,i}\times A_i)$$

この式において、$\alpha_{SL,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SL,i}$：室ｉの室用途ごとに別表第３に掲げる照明設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）
A_i：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）
ｎ：当該非住宅建築物における照明対象室の数

⑷　E_{SW}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SW}=\sum_{i}^{n}(\alpha_{SW,i}\times A_i)$$

この式において、$\alpha_{SW,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SW,i}$：室ｉの室用途及び地域区分ごとに別表第３に掲げる給湯設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）
A_i：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）
ｎ：当該非住宅建築物における給湯対象室の数

⑸　E_{SEV}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SEV}=\sum_{i}^{n}\left(\frac{L_{SEV,i}\times V_{SEV,i}\times C_{SEV}\times T_{SEV,i}\times M_{SEV,i}}{860}\times N_{SEV,i}\right)\times9760\times10^{-3}$$

この式において、$L_{SEV,i}$、$V_{SEV,i}$、C_{SEV}、$T_{SEV,i}$、$M_{SEV,i}$、$N_{SEV,i}$及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$L_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの積載質量（単位　キログラム）
$V_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの定格速度（単位　１分につきメートル）
C_{SEV}：基準設定速度制御係数（１／40）
$T_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの年間運転時間（単位　時間）
$M_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの輸送能力係数（単位　無次元）
$N_{SEV,i}$：昇降機系統ｉに属する昇降機の台数（単位　台）
ｎ：当該非住宅建築物における昇降機の対象系統数

⑹　E_{M}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{M}=\sum_{i}^{n}(\alpha_{SM,i}\times A_i)$$

この式において、$\alpha_{SM,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SM,i}$：室ｉの室用途ごとに別表第３に掲げるその他設備等に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）
A_i：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）
ｎ：当該非住宅建築物における対象となる室の数